

全国保育実践交流会ニュース

2024.10 月発行 関西地区

長かった暑い夏もやっと終わり収穫の季節、秋らしい毎日です。夏にプール三昧海三昧の子どもたちは一段とたくましくなって運動会や合宿にむかっている事と思います。

関西は3ブロックに分かれて年長交流を行っています。各ブロックの実状に合せ交流し、年長部会はブロック別ではなく全体で行っています。今年度は山中ふたば保育園で7月に開催し各園の年長の保育実践を交流しました。今回は、3ブロックの年長交流保育をご報告します。

北陸地区

富山	どんぐり山共同保育園	7名
石川	山中ふたば保育園	16名
福井	認定こども園 三国ひかり	20名
	認定こども園 たいら保育園	6名
	認定こども園 鷹巣ひかり	14名



☆9月26日（木）～28日（土）鷹巣ひかり保育園で2泊3日の年長運動会交流合宿

今年は認定こども園 鷹巣ひかりで9月26日から28日の交流合宿 63名の年長の子どもたちが集いました。

この時期、在園児も通常保育をしている中での交流合宿は過去36年間経験がなかったことです。年長さんが気持ちよく生活が送れるように、話し合いを重ねました。合宿開催園の大変さを知り、これ



まで受け入れてくれていたくみ共同保育園の職員集団の凄さを知ることができました。子どもたちは一日交流（9月10日）で鷹巣ひかりに一度来ているので、来るとどこに何があるかを知っていて、うさぎやにわとりと遊んだり、木に登ったりと思ひ思いに楽しく過ごしていました。宮澤 賢治の世界観を子どもたちと楽しみたいと考え、リズム遊びの中に「オッペルと象」の象の仲間を助けに行く所を表現したリ

ズムをしました。子どもたちは象になりきり三人組で走ります、仲間と楽しそうにリズムをする姿がとても印象的でした。2日目の夕方には、クロワッサンサーカス団に来てもらい綱渡りや、綱の上をユニークな自転車で渡る芸や手品を子ども達は目を輝かせて見ていました。公開保育の日には保護者の方に温かく見守られながらのびのびリズムをして障害物に挑戦する子どもたちの姿がありました。2月にスキー合宿、3月には最後の交流合宿を予定しています。

（文責 鷹巣ひかり 鳴海）

中国ブロック

兵庫	くりのみ保育園	23人
岡山	もみの木保育園	16人
	足守もみの木保育園	6人
広島	たんぽぽ保育園	20人



☆ 5月15日（木）交流保育

足守もみの木は、園舎が狭いため受け入れが難しいと年長交流保育をしてきませんでしたが、今年初めて交流保育をしました。2Fホール、テラスを年長の生活空間にして、リズム遊び後、園近くの龍王山へ登山。天気も良く、広い園庭でおやつを食べました。リズム遊びの馬とびは各グループの子どもたちが馬になってホールの真ん中1列に並んで位置します。これをホール端から順番に走って…ポンと跳び越します。「ひくくして」など、馬にお願いします。初めての交流だけど跳んでいるうちに打ち解けていったように思いました。環境を使い切る保育の中で心も体も心地よかったです

☆ 9月25日（水）～28日（土）もみの木保育園で3泊4日の年長運動会交流合宿

各園で春・夏と2～4回の合宿をとりくみ、9月に縄跳びを編み、パーラックをつくり、障害物に挑戦をし、初めて集まりました。15～16人の4グループでリズム遊び、食事、生活を送りました。1日目の職員打ち合わせでは、子どもが精一杯の力を発揮するために、職員は環境をつくり子ども自らがやりきる力を応援することを確認し合いました。そして『食べる・寝る・排便・あそぶ』が整う3泊4日の保育はどの子ども元気になることを確信しました。



沖縄の文化にも触れ（わらしべ王子の原画、エイサー踊りを観る、歌とわらべ歌あそび、沖縄料理）パーラックのリズムあそび、読み聞かせ、人形劇を観るなど、心豊かな日々を送りました。最終日の公開保育（父母・保育者参加）では、いっそう張り切る姿と仲間の成長をともに喜び合う姿がありました。

子どもたちの抱えるものが多様化してきていることを実感し、保育者の世代交代の交流保育の中で、保育リーダーの森田さんが「保育は根気がある」と言われました。保育者が力をつける、保護者へ保育を伝える、子どもがあるがままに育つためには、諦めずに繰り返すことが保育であることを学びました。年長交流保育・合宿では、開催園の0～4歳児と職員は保育を工夫し、年長が過ごしやすい環境をつくり、みんなで育つ力を支えています。11月たんぽぽ、2月もみの木1日交流、3月交流合宿を予定しています。

（文責 たんぽぽ 安徳）

🍌近畿ブロック

近畿ブロックは小さな集団の園が多く 1 人の年長の園もあります。くるみ合宿の他 8 月はあすならリズム交流 アマゴつかみ交流 ひょうたん山蛭合宿など交流を深めています。たくさんの仲間と出会い考え合い初めての事にともに挑戦する生活は楽しく子どもも保育者もたくさんの刺激をもらい日々の生活、保育の活気に繋がっています。

大阪	くるみ共同保育園	7 名
奈良	あすなら保育園	19 名
和歌山	山の子保育園	3 名
京都	認可外ひょうたん山保育園	1 名
	認可外 実り保育園	1 名



☆5月29日（水）～5月31日（金）くるみ合宿

近畿の年長さんは、今年度 5 月の 29 日（水）～31 日（金）くるみ共同保育園での合宿で初顔合わせをしました。くるみ共同保育園 7 人、山の子保育園 3 人、あすなら保育園 18 人、七実の木保育園、ひょうたん山保育園はそれぞれ 1 人ずつ、5 ャ園合計で 30 人の子どもたちです。2 日目には奈良公園まで鹿に会いに出かけ、原生林を歩きました。リズムは、「土台のリズムを丁寧にしっかり取り組むこと」「小規模の園も多いので、集団リズムを楽しむこと」を大切に、1 日目から午前、午後に合計 4 回リズムを重ねました。3 日目には身体の使い方が変わり、「聞いて、見て、考える」ことにも少しずつ手ごたえを感じるようになりました。子どもたちは、他園で泊まるのも、2 泊するのも初めて！ドキドキしたり、不安になったりもありながら、くるみ共同保育園の広い園庭が嬉しくて、着くなり坂をかけ登ったり、築山を掘ったり、坂の滑り台を楽しんでいました。心地良いくるみ共同保育園の園舎・園庭で、テレビもビデオもない年長中心の生活。3 日目、疲れはあるものの話を聞いて考える楽しんだ子どもたちでした。「余分な刺激」に囲まれていないか、生活や大人の対応を考え直す良い機会になりました。また、交流合宿を春に行うことで、子どもたちの勢いと意欲が増したように感じます。その後 8 月にはあすなら保育園で 1 日リズム交流を行いました。



☆10月2日（水）～4日（金）くるみ運動会合宿

再度くるみ共同保育園で 2 泊 3 日の運動会交流合宿を行いました。イメージが出来るようになった分、合宿前に不安になる姿もありましたが、その不安もきちんと言葉にして、自らの身体も心も自覚することを大切に臨みました。

仲間とともに過ごす 3 日間の子どもの成長ぶりは素晴らしく、当日は雨で、ホールでの運動会で

したが 1 日目とは見違えるようなリズムを保護者や 4 歳児にも見てもらい各園参加の保護者みんなで鯉の滝登りをして合宿を終えました。次は 12 月、3 月にくるみ合宿を予定しています

（文責 あすなら 南）



☆関西地区の取り組み

・年齢部会

近畿・中国ブロックと北陸ブロックと分れて 1 回目は公開保育と実践交流、2 回目は交流を実施。

学童・年長・給食部会は合同で行っています。

・12月21～22日 福山たんぼぼ保育園にて関西保育実践交流会

1 日目 各園の報告 2 回目の後半の保育に向けて全ブロックが集まって各年齢部会

2 日目 映画「戦雲いくさふむ」上映と西岡信之氏講演（元沖縄国際大学平和学担当

非常勤講師）

・各園の取り組みから

学習	もみの木を育てる会	増山均氏講演
	三国ひかり保育園	明和政子氏講演
	あすなら保育園	ダニー・ネフセタイ氏講演
文化行事	七実の木・実り保育園	ArtUnit「Korea×Japan」
		京都朝鮮歌舞団と和太鼓奏者山本朗生演奏会
	子育てサポートくるみ後援会	桂吉弥落語会
	もみの木を育てる会	小さなコンサート-地域の樫の木少年少女合唱団

各園、地域に向けて子育て教室、離乳食・給食試食会、園庭開、講演会等取り組んでいます。

☆いよいよ秋の全国研修会です

北陸ブロックの園中心に準備が進んでいます。2 日間ともに学び合いましょう、楽しみにしています。北陸の秋は景色も美しく美味しい物もたくさんあります。時間があれば少しリフレッシュ、観光もお楽しみください。

☆配置基準の大幅な改善を！人権を保障する福祉職員の賃金改善を！

求人をかけても応募はなく紹介業者を使うとかなり高額報酬を支払はなくてはなりません。配置基準は 4.5 歳児が 76 年ぶりに少し改善されましたがまだまだ 1 人の保育士にかかる責任は重たく 0 歳児 3 対 1 では災害時素早く避難するのは困難です。秋の福祉・保育全国署名が始まりました。子どもたちの生活の場、保育園の環境と、保育士の処遇改善を訴え、署名を集めましょう。

（編集 七実の木 実り 高瀬）